

平成27年度 第6回

# 子ども議会

～千葉市の未来へつなぐ議会～



公募による市内小学校5、6年生の子ども議会議員が「みんなが住みたい千葉市にするために」をテーマに、7グループに分かれて提案・質問を行いました。

関心のある分野について学習会で学んだり、自分たちで調べたりしたことをもとに、ファシリテーター役の中学生に支援を受けながら、提案・質問を検討しました。

当日は自分たちの提案・質問を様々な資料を活用し、発表の方法を工夫して伝えることができました。

## 1 開催の目的

○千葉市の将来を担う子どもたちが、千葉市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人がいきいきと幸せに暮らせるまちづくり」に向けた具体的な提案・質問を行う中で、千葉市民としての意識を高める。

○子どもの目線に立った提案や意見を市政に生かす。

**2 開催日時** 平成27年7月28日（火）9：00～12：00

**3 開催場所** 千葉市議会本会議場

## 4 出席者

(1) 子ども議会議員59人（公募による市内小学校5、6年生）

ファシリテーター役市内中学生19人

(2) 市政担当者

熊谷市長、鈴木副市長、神谷副市長

石井こども未来局長、

志村教育長、森教育次長

(3) 市議会議員

向後議長、白鳥副議長、

岩井教育未来委員長、伊藤教育未来副委員長



## 5 内容

### (1) 学習会～開催に向けて～

5回の学習会を実施し、市長や市政を担当する職員から千葉市の現状や取組、課題について話を聞くとともに、自分たちで実施したアンケート調査や現地調査などの結果をもとに、提案・質問内容をまとめました。



<熊谷市長による「千葉市の現在と未来のお話」>



<中学生を中心にテーマごとにグループで協議>



<行政担当者との意見交換>



### (2) 子ども議会当日

子ども議会議員はグループごとに、自分たちの思いが伝わるように工夫しながら、提案や質問をしました。



<高齢者の健康づくりについて  
ニュース番組風の劇で提案>



<千葉氏を歴史上の人物として広めるために  
甲冑を着用して提案>



＜子ども議会議員からの質問に答弁する熊谷市長＞

＜「かそりーぬからの手紙」を受け取る子ども議会議員＞



＜オリジナルの体操を実演して高齢者の健康づくりについて提案＞



＜自作の資料を用いて史跡マップづくりを提案＞

### (3) 提案・質問の内容

#### ① 「安全・安心なまちづくり」グループ

- ・学校で生活していて段差などが危なく感じることもあるので、けがや事故が起きやすい場所から、直してもらえませんか。
- ・学校施設を大切にすることを呼びかける「マスコットキャラクター」を作り、給食の牛乳パック等に印刷して子どもたちに呼びかけることはできますか。
- ・自転車専用通行帯の整備を進めてほしいのですが可能ですか。



- 学校施設や設備の修繕は、学校の修繕要望を受けて緊急性の高いものから行っています。学校でけがや事故が起きやすい場所に気が付いたときは、すぐに先生に伝えてください。安全な学校生活のために修繕します。
- マスコットキャラクターを活用して学校施設を大切にするための呼びかけを行うことは、効果的です。製造している企業に働きかけていきます。
- 千葉市では「ちばチャリ・すいすいプラン」を策定し、平成26年度から概ね10年間で約50kmの自転車専用通行帯の整備を進める計画を立てています。今後も積極的に自転車専用通行帯の整備を行っていきます。

## ② 「人が集まるまちづくり」グループ

- ・若葉区の「ラジオ体操で健康づくりとまちづくり」に、高齢者や認知症などの病気の方でも簡単にできる、私たちが考えた「かそりーぬ体操」を取り入れてもらえませんか。
- ・私たちが身近な高齢者や病気の方を元気にする「元気サポーター」となり、認知症や病気や高齢の方と「かそりーぬ体操」を一緒に行いたいと思いますがどうですか。



- 「かそりーぬ体操」は、加曽利貝塚や千葉市の宣伝にもなり、世代間交流も期待できるので、ぜひラジオ体操グループに教えてください。
- 「かそりーぬ体操」は、高齢の方や病気の方を元気にするのに大変効果的だと考えます。多くの方が参加できるように工夫し、世代を超えた交流の機会を増やす取組として参考にしていきます。

## ③ 「自然や環境にやさしいまちづくり」グループ

- ・ポイ捨てやゴミステーションのマナー違反をなくすために、「ちばレポ」で報告してもらい改善してはどうですか。
- ・緑のカーテンの種子の無料配付を広く知らせ、育て方のアドバイスを受けられるようにしたり、緑のカーテンコンクールを行ったりしてはどうですか。
- ・「区のシンボルツリー」を決めて、公園や道路に植えて、自分の住む地域に愛着を感じられるようにしてはどうですか。



- ちばレポではポイ捨て等の報告があると、市が直接回収するか、土地の管理者に連絡して処理を依頼しています。今後、ポイ捨てやゴミステーションのルール違反について、レポーター等との連携や、情報の共有や仕組み作りについて検討していきます。
- 種子の配付は、市政だよりでお知らせし、各区役所で行っており、各小中学校に苗と種を配付しています。その際、育て方についてのチラシを添えています。今後は、市のホームページや緑の相談所の利用も呼びかけます。また、コンクールについても検討します。
- 「区のシンボルツリー」は、自分の住む地域に誇りを持ち、住み続けたいまちづくりにつながるアイデアだと思います。各区では、特性に応じたまちづくりに取り組んでいるので、それぞれの区にふさわしいまちづくりについて区役所へ提案してください。

## ④ 「災害に強いまちづくり」グループ

- ・雪や大雨の時にマンホールは滑りやすくなるので、目立たせたり、滑りにくくしたりしてはどうですか。
- ・「防災こどもインストラクターを千葉市につくろう！」をスローガンに、子ども防災セミナーを開催してはどうですか。また、このような取組を行っている事例があれば教えてください。



- 市内には公共下水道のマンホール蓋が約11万7千箇所あり、計画的に点検を行い、滑りやすくなったマンホールの蓋を取り換えています。提案内容は安心・安全のため、参考にします。
- 緑区では小学生を対象に、こどもの防災体験として研修会を開催しています。また消防局では、こども救急講習修了者の小学生を対象に「応急手当ジュニアインストラクター講習」を行っています。今後も、子どもの防災意識を高める施策を推進します。

### ⑤ 「交流の盛んなまちづくり」グループ

- ・子どもが主役の「水鉄砲大会」を行ってみてはどうでしょう。校内放送を利用したり、QRコードを使った動画を作ったりして宣伝すれば効果的だと思いますがどうですか。
- ・交流を盛んにするために、市内の色々な施設を回る「千葉市スタンプラリー」があれば、子どもでも楽しめると思いますがどうですか。



- 本市で推進している「こどもの参画事業」として参考にさせていただきます。校内放送やQRコードの使用はたいへんよい発想です。
- 「こどもの遊び場マップ」に掲載している施設、公園等を対象としたスタンプラリーは施設等との調整が必要です。広報については検討し、実施の際には皆さんの協力も必要です。

### ⑥ 「にぎわいのあるまちづくり」グループ

- ・「史跡散策マップ」を作成・活用したスタンプラリーを開催したり、QRコードを使った情報提供をしたりするのはどうでしょう。
- ・泉谷公園のホタル生態園での観察会を知ってもらうために、ホタルを千葉市科学館に展示してはどうですか。
- ・稲毛海浜公園で「キッズグルメ選手権」を行ってはどうですか。子どもが千葉の食材を調理して販売し、優勝したレシピをホームページで紹介したり、お祭りで販売したりすると街の活性化につながります。



- 本市にある史跡への関心を高めるためにも、ホームページ等による紹介や、スタンプラリーの開催などの提案を参考に推進します。
- ホタル生態園の観察会は、市政だよりや観光雑誌でお知らせしています。ホタルはとてもデリケートな生き物で展示は難しいですが、生育状況のお知らせなどについては検討していきます。
- 「キッズグルメ選手権」は、稲毛海浜公園での大きなイベントに便乗すると実現しやすいと考えます。衛生面や火気の取り扱いについて、大人に相談したり手伝ってもらったりすることが必要ですが、子どもによる出展はイベントを盛り上げたり、自主性を育んだりする効果が期待できるので実現に挑戦してみてください。

### ⑦ 「愛着とほこりかもてるまちづくり」グループ

- ・大賀ハスを泉谷公園の池で育てたり、イベントで大賀ハスの種をプレゼントしたりできますか。その際に、千葉市の自然についてアンケートを実施したり、ごみ拾いをお願いしたりできませんか。
- ・千葉氏を知ってもらうために、漫画やアニメーションを作ったり、千葉常胤の似顔絵コンテストを行ったりしてはどうでしょうか。また、郷土博物館でクイズラリーなどはできますか。
- ・千葉の特産物海苔を使った「千葉海苔ロール焼きそば」を給食で提供して、多くの子どもの知ってもらってはどうか。



- 大賀ハス池の整備は、場所や生育環境などの条件を検討して決めていきます。大賀ハスは、品種を保存するために種子での配付はできません。千葉市の自然についてのアンケートやごみ拾いは、地域への愛着と誇りの持てるまちづくりに効果的なので皆さんも協力してください。
- 現在、千葉氏の歴史を題材にした漫画の作成を進めています。小学生にも「千葉常胤」や「千葉氏」を知ってもらうための広報活動を検討したいと思います。郷土博物館では千葉氏に関する「千葉氏マスタークイズ」を実施していますが、さらに充実させます。皆さんに楽しみながら郷土博物館の展示を見てもらえるようにしたいので、今後も提案をお願いします。
- 「千葉海苔ロール焼きそば」を給食で提供することは、多くの子どもたちに、海苔が千葉の特産物であること知ってもらえる機会だと考えます。簡単に作ることができるので、家庭でも積極的に楽しんでもらうとともに、周りの人にも広めてください。

## 5 熊谷市長の講評

各グループからすばらしい提案をしていただき感謝しています。

議会とは自分が思っていることを言うだけではなく、みんなで議論した結果を発表する場です。何かを実現するときには、考えの違う人たちと話し合って意見をまとめることが必要です。皆さんも「子ども議会」を通して、そのような経験ができたのではないかと思います。

市政においても提案を実現する際には、優先順位をつけて取り組んでいますが、これを決める話し合いも市議会で行っています。このことは皆さんも知っておいてください。

私たちは皆さんの提案の実現に向けて努力しますが、皆さんも提案だけで終わるのではなく、実施を見守ったり、実行できることは協力したりしていくをお願いします。それが社会に出た時に大切なことであり、皆さんができることでもあります。

ここに至るまでにご協力いただいた方々に、あらためて敬意を表し感謝します。数多くのすばらしい提案を、本当にありがとうございました。

## 6 子ども議会議員の声から

※一部を抜粋しています

子ども議会に参加して、千葉市の課題について知ることができました。今回学んだことを友達に伝えて、千葉市のこれからについて話し合いたいと思います。

いろいろな提案を聞いて、他のグループが提案したことについても参加したいと思いました。友達にも呼びかけて、多くの人で千葉市をよりよくしていきたいと思いました。

テーマごとにグループで話し合い、それを全体の場で提案するという方法はとてもよかったので、学校でもこのような方法を取り入れてみてもよいと思いました。

これまでは世の中のことにあまり関心がありませんでしたが、子ども議会に参加してからニュースを見るようになりました。これからもこのような機会があったら参加したいです。

実際に市議会を行っている場所で子ども議会が行われたので、自分が議員さんになったような気持でした。自分たちの提案を、市長さんに直接話を聞いていただけたことは、とてもよかったです。

小学生の皆さんが真剣に話し合い、提案できたことがとてもよかったです。話し合いを進めたり、内容を伝えたりすることは難しかったけれど、ファシリテーターの大切さを学ぶことができました。

